

専攻科福祉専攻 ～生活支援技術の授業紹介その①～



■口腔ケア実習

歯ブラシやハミングッド、ウェットティッシュを用いた歯の磨き方、歯茎のマッサージの方法について学びました。歯ブラシを奥から手前に動かすなど、利用者が安心して口腔ケアを受けられるように考慮する点など身をもって体験することが出来ました。

■高齢者向けの献立・食事作成

生活支援技術の授業内では、高齢者に向けた食事についても学んでいきます。調理実習では学生それぞれが自分で考えた二人前の献立を一時間を目安に調理をしました。献立を立てる際には『魚、油、肉、牛乳、野菜、海藻、芋、卵、大豆、果物』をバランスよく取り入れること、高齢者の方が食べやすくなるような柔らかい食材を用いたり柔らかくなるような調理方法を取り入れるなど意識しました。

調理実習を終えての反省点として、「一食分の食事が高齢者には多いと思われる量になってしまっていた」、「時間配分を考えた調理ができていなかった」ことが挙げられました。高齢者向けの調理はグループホームや訪問介護などの様々な場面で必要となってくるので、就職に向けて日々の生活での料理から精進していきたいと思っています。



一か月ぶりです、学生ルポライターのちゅんです！真夏さながらの暑が続いておりますが皆様いかがお過ごしでしょうか。私は自宅の自室に冷房がないので、クーラーの効いたバイト先が天国に思える毎日を過ごしています。熱中症対策をしっかりとて、夏休みに向けて頑張っていきましょう！😊

今回は「生活支援技術Ⅰ」、「生活支援技術Ⅱ」の授業の様子をいくつか紹介していきたいと思います。

—そもそも生活支援技術ってどんな教科？—

「生活支援技術Ⅰ」、「生活支援技術Ⅱ」とは、介護福祉士が利用者およびその家族への生活を支援するために習得しておかななくてはならない介護技術を講義やグループワーク、演習を通して学習していく教科です。

■学内・外での車椅子実習



5月下旬に実施した車椅子実習では、学外の歩道やキャンパス内の様々な道を「押す人」「乗る人」を交換しながら体験していきました。利用者の方が心地よく車椅子で移動するために「声掛けのする位置」や「安全な段差の乗り越え方」、「適切な押す速さ」について学ぶことができました。

右の写真のようなグレーチングや小さな歩道の凹凸等、歩いているときには気にならないものでも、車椅子に乗っているとかなりの振動が来ることが体感できました。

